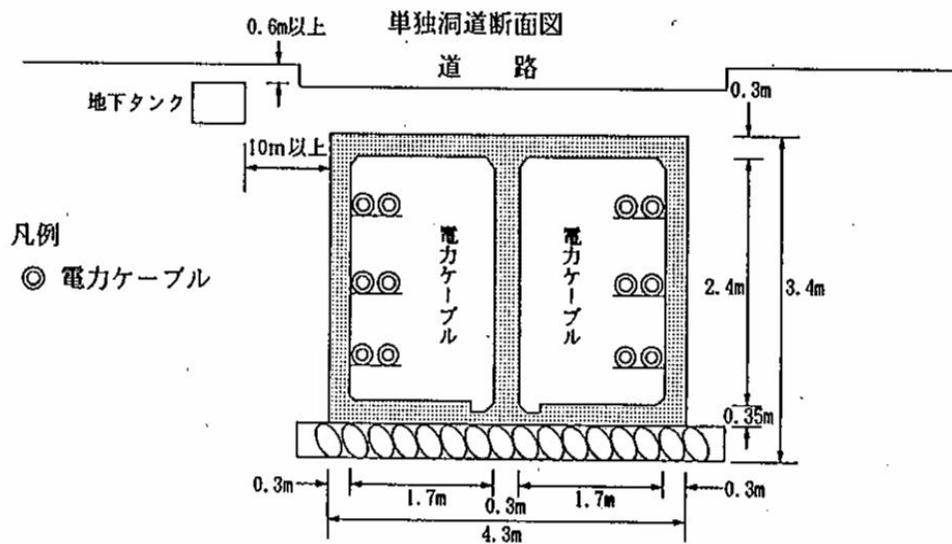


第28 直接地下に埋設されたタンクと距離規制される地下トンネルに該当する共同溝等の例

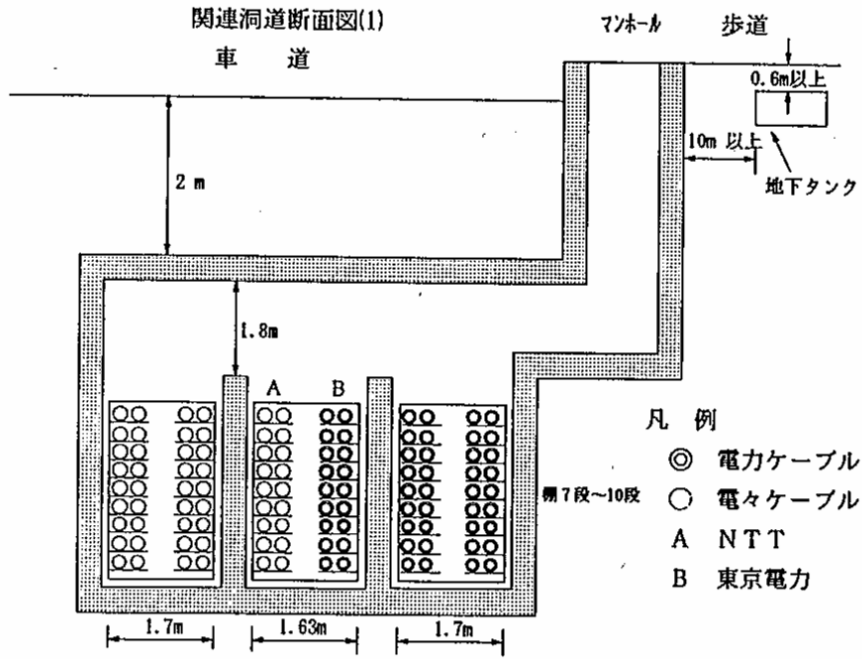
(昭43.10.25 消防予第239号質疑)

既設の第4類の危険物を貯蔵する地下貯蔵タンクであって、直接地下に埋設されたタンク（二重殻タンク構造、漏れ防止構造以外のもの）については、危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（平成17年政令第23号。以下「改正政令」という。）の施行の際、改正政令附則第2条の規定により構造及び設備に係る技術上の基準については従前の例によるとされている。このため、当該タンクから水平距離10m以内の場所等に地下鉄又は地下トンネルが存することとなった場合には、当該タンクは継続使用できない。

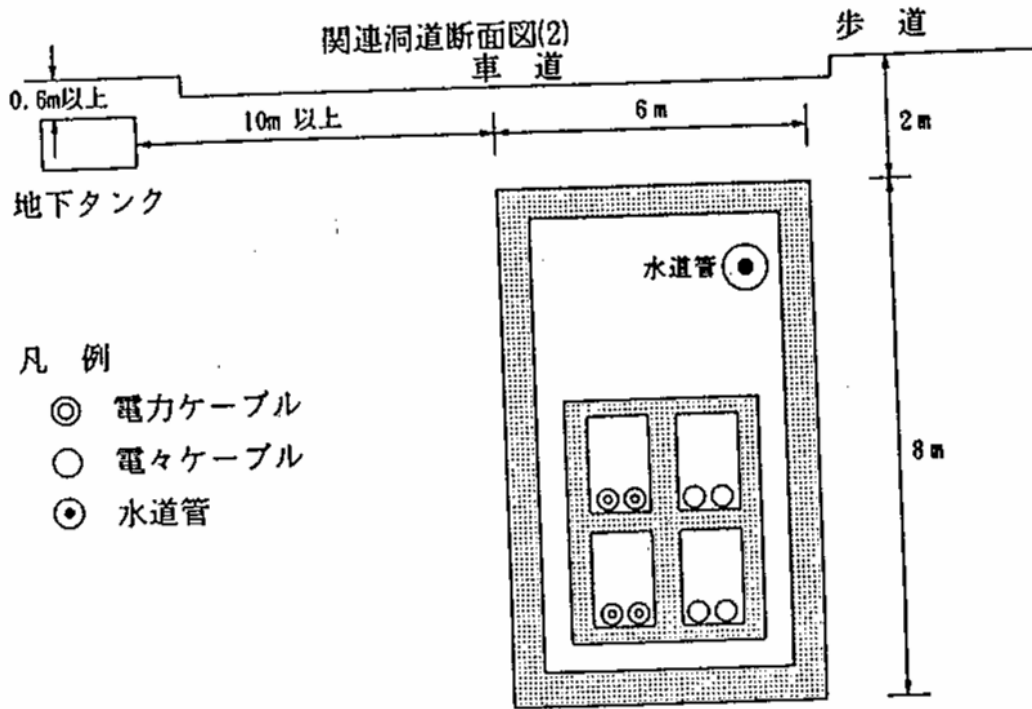
当該規制の「地下トンネル」に該当する共同溝等の例としては、次に示すものがある。



第5-6-1図

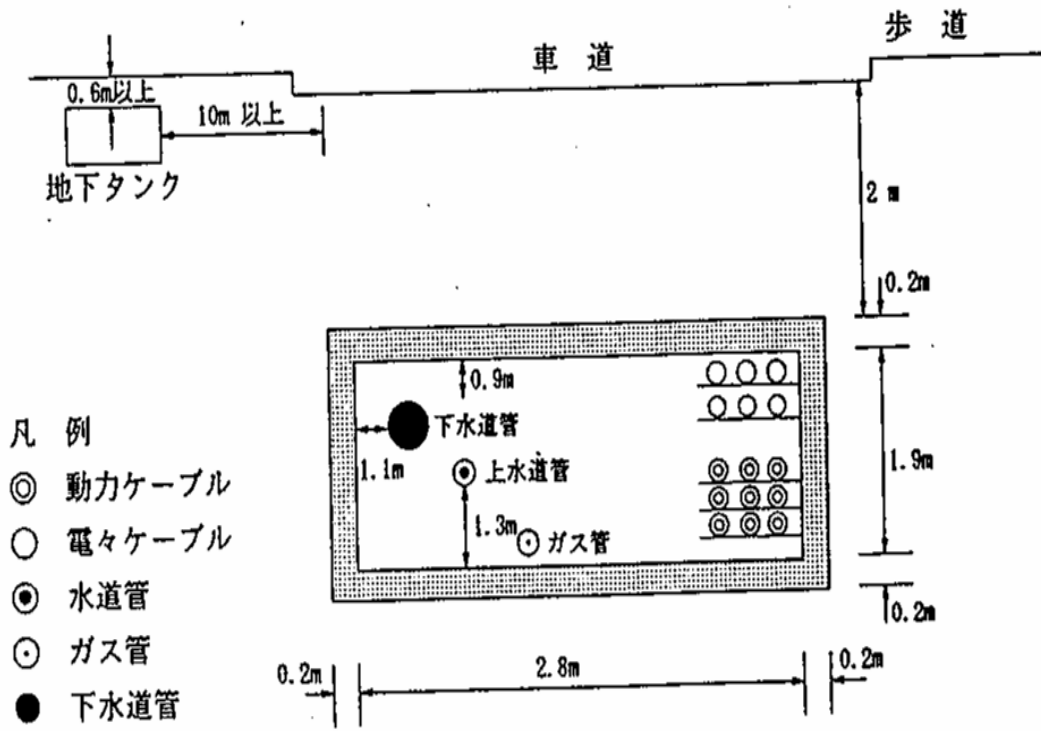


第5-6-2図



第5-6-3図

共同溝断面図



- 凡例
- ◎ 動力ケーブル
 - 電々ケーブル
 - 水道管
 - ⊙ ガス管
 - 下水道管

第5-6-4図